

平成29年度「基礎・基本」定着状況調査の結果から

中学校・義務教育学校後期課程 国語

特に定着していると考えられる内容〔通過率60%以上の設問（上位3問）〕			
タイプ	領域	問題の内容	通過率
タイプⅠ	伝・国	文語のきまり	94.7%
タイプⅠ	伝・国	故事成語	94.1%
タイプⅡ	書く・読む	情報の取り出し	88.4%
課題と考えられる内容〔通過率60%未満の設問（下位3問）〕			
タイプ	領域	問題の内容	通過率
タイプⅠ	伝・国	小3の漢字の書き（始動）	33.7%
タイプⅡ	書く・読む	要旨の把握	35.6%
タイプⅠ	書く	叙述の仕方の確認	45.5%
【指導改善に向けて】			
<ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表に示す漢字を書くことができるよう指導する。 ・目的に応じて資料を読み、要旨を把握することができるよう指導する。 ・書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすることができるよう指導する。 			

中学校・義務教育学校後期課程 数学

特に定着していると考えられる内容〔通過率60%以上の設問（上位3問）〕			
タイプ	領域	問題の内容	通過率
タイプⅠ	数と式	四則の計算	96.4%
タイプⅠ	数と式	小数の減法	96.0%
タイプⅠ	図形	対称移動	87.8%
課題と考えられる内容〔通過率60%未満の設問（下位3問）〕			
タイプ	領域	問題の内容	通過率
タイプⅠ	図形	円錐と円柱の体積の関係	44.9%
タイプⅠ	数と式	自然数の意味	49.8%
タイプⅠ	数と式	文字式の読み	53.5%
タイプⅡ	関数	事象の数学的な解釈	53.5%
【指導改善に向けて】			
<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての理解を深めるよう指導する。 ・事象を式の意味に即して解釈し、その結果について考えることができるよう指導する。 ・与えられた式を基に、事象における数量の関係を判断することができるよう指導する。 			

中学校・義務教育学校後期課程 理科

特に定着していると考えられる内容〔通過率60%以上の設問（上位3問）〕			
タイプ	領域	問題の内容	通過率
タイプⅠ	生物	蒸散	90.1%
タイプⅠ	物理	光の屈折	84.2%
タイプⅠ	生物	対物レンズとプレパラートの間の距離	81.5%
課題と考えられる内容〔通過率60%未満の設問（下位3問）〕			
タイプ	領域	問題の内容	通過率
タイプⅡ	化学	状態変化のグラフ	14.5%
タイプⅠ	化学	メスシリンダーを用いた固体の体積のはかり方	17.5%
タイプⅡ	地学	砂岩と判断する根拠	18.8%
【指導改善に向けて】 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識の定着を図り、具体的な体験を通して実感を伴った理解ができるよう指導する。 ・仮説に基づいて実験結果を予想させ、実験結果の比較から考察させることを通して論理的に説明することができるよう指導する。 ・岩石の観察結果を基に考察し、岩石を分類することができるよう指導する。 			

中学校・義務教育学校後期課程 英語

特に定着していると考えられる内容〔通過率60%以上の設問（上位3問）〕			
タイプ	領域	問題の内容	通過率
タイプⅠ	話す	コミュニケーションへの積極性・コミュニケーションの継続	100.0%
タイプⅠ	書く	基本的な文のきまりを理解した作文	98.0%
タイプⅠ	読む	内容を考えた音読（実技）	96.7%
課題と考えられる内容〔通過率60%未満の設問（下位3問）〕			
タイプ	領域	問題の内容	通過率
タイプⅠ	聞く	リスニング問題（英語での問いかけに対する適切な応答）	54.8%
タイプⅠ	話す	自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す	57.8%
タイプⅡ	読む・書く	根拠となる英文の読み取り	59.4%
【指導改善に向けて】 <ul style="list-style-type: none"> ・情報を基に、それに関連する質問を考え、英文を書くことができるよう指導する。 ・授業の中で積極的に英語を用い、自分の思いや考えを伝えることができるよう指導する。 			